



環境かわら版

2026 年 8 月号(第 363 号)



「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」第12期の活動がスタートしました(P2)



「2027 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています(P4)



ツヤハダゴマダラカミキリの駆除にご協力ください！(P5)



モリゾー キョコロ
あいち SDGs アンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」

第12期の活動がスタートしました



持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生 32 名が研究員となり、パートナー企業 8 社から提示された環境課題に対して解決策を提案する「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の活動がスタートしました。

6 月 28 日（日）に愛知県自治センターで開催した開所式には、研究所の所長である知事、第 12 期の研究員、パートナー企業の皆さん、ファシリテーターの皆さんが出席しました。



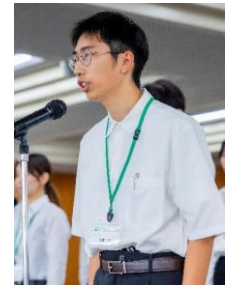
開所式の様子



知事挨拶

知事からは研究員への激励の挨拶があり、パートナー企業の皆さんからも研究員の活躍に期待を寄せるコメントをいただきました。

また、研究員を代表して、名古屋大学の礒貝尚生さんから「お互いの個性を最大限に生かし、私たちにしかない視点で課題に向き合いたいと考えています。」と力強い抱負が述べられました。



研究員代表
礒貝尚生さん

7 月から、現地調査や企業担当者とのディスカッションなど、本格的な研究活動を行い、12 月には、その成果を発表する予定です。



開所式後のチームミーティングの様子

県は、持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を推進しており、若者らしい斬新な視点で解決策を提案する研究所の活動を通じて、研究員が未来の「環境リーダー」に成長することを期待しています。

〔 環境政策課 企画・広報・法規グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン） 〕

パートナー企業（50 音順）	環境課題
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	災害に強い地域づくりのため、防災・減災に資する新たな支援メニューを検討せよ
(株) あいち銀行	企業の脱炭素化に資する新たな金融サービス・仕組みを検討せよ
(株) NTT ドコモ	生成 AI を活用し、当社の生物多様性保全活動をより楽しく有意義なものに進化させよ
スギホールディングス(株)	「地球にいいこと」の選択が家族の幸せにつながるような、新しいお買い物体験を提案せよ
住友理工(株)	水と緑を活かした企業緑地の自然共生活用モデルを提案せよ
(株) 中日新聞社	2030 年に向け、環境・共生・多様性の観点で印刷工場をアップデートせよ
日本特殊陶業(株)	水素や CO ₂ の可能性を伝え、未来へのワクワク感を高める企画を提案せよ
名城食品(株)	当社のファンを増やせるような、食品ロス削減の新施策や効果的な情報発信策を検討せよ

「あいちエコドライブキャンペーン」の参加者を募集しています



愛知県は、(一社)日本自動車連盟(JAF)愛知支部と共催し、SV. LEAGUE 所属の男子バレーボールチームであるウルフドッグス名古屋の協力のもと、「あいちエコドライブキャンペーン」を実施しています。本キャンペーンは、エコドライブに関する動画を視聴し、その後、アンケート内のクイズに答えていただくことで、エコドライブの方法や効果を学び、実践につなげていただくものです。

このキャンペーンの参加者を募集していますので、ぜひご参加ください。環境やお財布にやさしく、安全運転にもつながるエコドライブを身に付け、日々の生活に生かしてみましょう。

1 実施期間

12月31日(木)まで

2 参加の流れ

(1) キャンペーン Web ページにアクセス

(2) エコドライブについての動画を視聴

(3) クイズに回答

(4) エコドライブを実践

3 記念品について

キャンペーンに参加いただいた方には、抽選で500名の方に、記念品を進呈します。

詳細はキャンペーン Web ページをご覧ください。

(<https://jaf.or.jp/common/area/2026/chubu/aichi/local-news/aichiecodrive2026>)

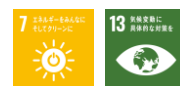


愛知県 JAF エコドライブ

検索

水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)

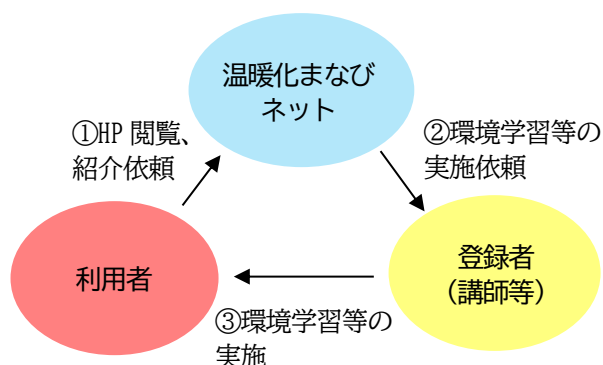
「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット」に登録する個人、事業者、団体等を募集しています



愛知県では、県民の皆さんの地球温暖化対策活動を支援するため、様々なテーマに合わせた講師や指導者等の情報を掲載・紹介する「温暖化まなびネット」を開設しています。

地球温暖化対策に関する講師や指導者等として県内で活動していただける方(個人・事業者・団体等)を随時募集していますので、是非ご応募ください。

【温暖化まなびネットとは】



1 応募方法

Web ページから登録申請書をダウンロードし、メール又は郵送で提出してください。(宛先は下記 Web ページを参照)

2 登録の流れ

活動実績などを審査の上、講師として登録します。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet-bosyuu.html>)



温暖化まなびネット

検索

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

「2027 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています



愛知県では、循環型社会の形成を促進するため、企業、団体などが行う先駆的で効果的な環境取組の事例を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、
名古屋市長賞、優秀賞

2 募集対象者

企業、団体又はグループ
(個人の応募は不可)

3 募集対象事例

サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など、資源循環や環境負荷低減を推進する先駆的で効果的な県内の＜技術・事業＞及び＜活動・教育＞



4 募集期間

9月30日(水)まで(必着)

5 応募方法

応募用紙(Web ページから入手可) 10 部及び CD-R 等の電子媒体 1 部を資源循環推進課へ直接お持ちいただくか、郵送(〒460-8501(住所記載不要))してください(メール不可)。

6 選考結果の公表

2027 年 2 月下旬予定

詳細は次の Web ページをご覧ください。
(<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou/>)



資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)

〈参考〉昨年度 2026 愛知環境賞表彰式 (2026 年 2 月 17 日 (木) ホテルメルパルク名古屋にて開催)

サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など、37 件の応募の中から、金賞を受賞した東邦ガス(株)の「都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた国内初の e-メタン活用」を始め 14 件の受賞事例を決定しました。



表彰式の様子 (金賞 東邦ガス(株))

表彰式では、知事、環境パートナーシップ・CLUB の勝野 哲 会長(中部電力(株)代表取締役会長)、中日新聞社の池口真美事業局事業統括部地域貢献課長、名古屋市の真鍋孝顯経済局担当部長から各受賞者に対して表彰状と楯が授与されました。



会場の様子

賞の種類	受賞事例	受賞者
金賞	都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた国内初の e-メタン活用	東邦ガス (株)
銀賞	自動車外装樹脂部品の射出成形機金型内での新しい塗膜形成技術の開発	内浜化成 (株)
銅賞	地域の川と生き物を対象として数値化による PDCA を行い楽しく学ぶ地域協働での河川活動と ESD	(株) 豊田自動織機 愛三工業 (株) 至学館大学 知多自然観察会
中日新聞社賞	楽しさで加速する行動変容 ―ゴミ拾いは地球を救う―	ABK♡朝美活
名古屋市長賞	高品質と環境配慮を両立した日本唯一の一貫生産モデルの構築	御幸毛織 (株)
優秀賞	受賞者 (9 件) アイシン高丘 (株)、(株) アオキスーパー・(株) ミライデザイン GX、(株) グランツ、CKD (株)、Terminal、(株) 鶴弥・創嘉瓦工業 (株)、(株) 豊竹、プロジェクト sky、(株) 毎日商会	

ツヤハダゴマダラカミキリの駆除にご協力ください！

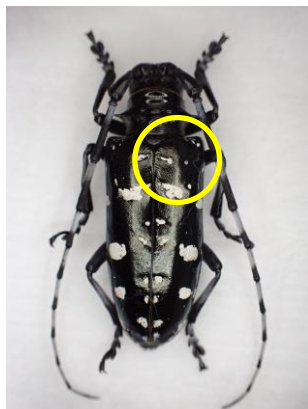


近年、愛知県内でツヤハダゴマダラカミキリの発見や被害が報告されています。

1 ツヤハダゴマダラカミキリとは

東アジア原産のカミキリムシで、成虫は5～10月に見られます。幼虫はアキニレやカエデ類、ヤナギ類など様々な樹木を食べて枯らすため、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されています。

体長は3cm前後で、在来種のゴマダラカミキリとよく似ていますが、ポイントを押さえれば見分けることができます。



ツヤハダゴマダラカミキリ
(在来種は、○部分に小さなつぶつぶがある)

2 ツヤハダゴマダラカミキリを見つけたら

本種の成虫を見つけたら、被害拡大防止のため、殺虫剤などで駆除してください。

付近の木に直径10～15mmの円形の穴が複数開いていたり、木が弱っていたりする場合、幼虫が内部にいる可能性があります。放置すると、周囲の木にも被害が及ぶだけでなく、落枝や倒木の危険があるため、市町村担当課、県自然環境課又は県民事務所等環境保全課にご連絡ください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/tsuyahada202206.html>)



愛知県 ツヤハダゴマダラカミキリ

検索

自然環境課 野生生物・鳥獣グループ
電話 052-954-6230 (ダイヤルイン)

化学物質の環境への排出量等(2024年度分)についてお知らせします



私たちの生活は多くの化学物質によって支えられていますが、製造、使用、廃棄される過程で環境に排出され、人の健康や動植物などの生態系に悪い影響を与えてしまうものもあります。

このような化学物質の環境への排出を管理するため、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」及び条例により、対象事業者は、法律等で定められた化学物質について、環境に排出した量等の届出が義務付けられています。

このたび、2024年度の県内の排出量等を集計しました。その概要は次のとおりです。

- 2024年度は、届出排出量、全排出量ともに2023年度と比較して増加しました。
- 2024年度の全排出量は、集計を開始した2001年度と比較すると66.4% (43,973 トン/年) 減少しました。

- 2024年度の届出取扱量に対する届出排出量の割合(下表[B]/[A])は、届出取扱量の集計を開始した2004年度の0.61%から0.38%に低下しました。

県内排出量等(2024年度と2023年度との比較)

	届出 事業所数	届出取扱量 [A](トン/年)	届出排出量 [B](トン/年)	割合 [B]/[A](%)	全排出量 (トン/年)
2024	1,890 件	2,706,998	10,310	0.38	22,278
2023	1,906 件	2,570,893	10,152	0.39	22,074
増減	△ 16 件	5.29%	1.5%	△ 0.01%	0.9%

届出取扱量: 事業者が自ら把握した、化学物質を製造又は使用した量

届出排出量: 事業者が自ら把握した、環境に排出した化学物質の量

全排出量: 届出排出量と届出外排出量(届出対象外の事業者、家庭、自動車等からの推計排出量)の合計

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/site/prtr/syuukeikekka.html>)



愛知県 化学物質

検索

環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

「2025 年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」についてお知らせします



愛知県は、水質汚濁防止法第 16 条第 1 項の規定により作成した「2025 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき、関係機関とともに県内の水質調査を行いました。結果の概要は、次のとおりです。

1 公共用水域の水質調査結果

(1) 健康項目

河川、湖沼、海域の 122 地点のうち、1 地点で 1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しませんでした。その他の項目及び他の 121 地点の全ての調査実施項目で環境基準を達成しました。

(2) 生活環境項目

環境基準の達成水域数及び達成率は下表のとおりです。達成率の長期的な推移としては、河川の生物化学的酸素要求量 (BOD)、海域の全窒素及び全りんについては改善傾向にあり、海域の化学的酸素要求量 (COD) については概ね横ばいで、湖沼の COD については未だ達成していません。

【環境基準(生活環境項目)の達成水域数及び達成率】

	調査項目	類型指定 水域数 ^{*1}	環境基準 達成水域数	環境基準 達成率
河川	BOD	49	46	94%
	大腸菌数 ^{*2}	27	16	59%
	水生生物保全 環境基準	42	38	90%
			42	100%
			42	100%
湖沼	COD	1	0	0%
	水生生物保全 環境基準	1	1	100%
			1	100%
			1	100%
	全窒素	6	6	100%
海域	COD	11	5	45%
	全窒素	6	6	100%
	全りん	6	6	100%
	水生生物保全 環境基準	9	9	100%
			9	100%
			9	100%

*1 河川及び海域については調査項目により類型指定水域数が異なっています。

*2 大腸菌数は環境基準点ごとに評価を行うため、類型指定水域数には類型指定された水域の環境基準点数を、環境基準達成水域数には環境基準点における達成数を記載しています。



採水作業の様子

2 地下水の水質調査結果

県内の地下水の水質の概況を把握するため 103 地点で調査 (概況調査) を行った結果、9 地点で環境基準を超過した項目がありました。そのうち、今回新たに環境基準の超過が判明した地点については、井戸所有者へ井戸水の飲用をしないよう注意喚起を行いました。

また、地下水汚染が判明した地域の継続的な監視 (定期モニタリング (継続監視) 調査) や地下水汚染の汚染範囲等の確認 (汚染井戸周辺地区調査) も行いました。

【調査地点数及び環境基準の超過地点数】

調査区分	調査地点数	環境基準 超過地点数
概況調査	メッシュ調査	85(85)
	定点調査	18(18)
定期モニタリング調査	148(226)	95(113)
汚染井戸周辺地区調査	11(23)	2(2)

3 今後の対応

引き続き調査を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例等に基づき、事業者に対する指導、生活排水対策等を総合的に推進し、環境基準の達成・維持に努めていきます。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2025suishitsu-taiki.html>)



水大気環境課 調整・計画グループ
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン)
水・土壌規制グループ
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)

「2025 年度大気汚染調査結果」について

お知らせします



愛知県は、大気汚染防止法に基づき、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市及び豊田市とともに、大気汚染調査として、大気汚染物質(二酸化硫黄等 6 物質)及び有害大気汚染物質等の常時監視を行っています。

2025 年度の大気汚染調査結果の概要は、次のとおりです。また、詳細な結果は、以下の Web ページにて公開しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2025suishitsu-taiki.html>)



1 大気汚染物質(二酸化硫黄等 6 物質)

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質 (PM_{2.5}) については、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントは、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しませんでした。

環境基準の達成状況

項目	二酸化硫黄		二酸化窒素	
局区分	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	19	4	59	24
達成測定局数	19	4	59	24
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	一酸化炭素		浮遊粒子状物質	
局区分	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	2	9	59	23
達成測定局数	2	9	59	23
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	光化学オキシダント		微小粒子状物質	
局区分	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	62	13	42	16
達成測定局数	0	0	42	16
環境基準達成率	0%	0%	100%	100%

(注) 一般局は地域を代表する点に設置されている一般環境大気測定局のことで、自排局は幹線道路沿いに設置されている自動車排出ガス測定局のことで。

2 有害大気汚染物質等

環境基準等が定められているベンゼンなど 15 物質については、全ての測定地点で環境基準等を達成しました。

3 今後の対応

引き続き常時監視を行うことで、環境基準等の達成状況を把握するとともに、大気汚染防止法、自動車 NOx・PM 法、県民の生活環境の保全等に関する条例、愛知県 NOx・PM 総合対策推進要綱等に基づき、工場、事業場などに対する固定発生源対策や自動車環境対策等の各種大気汚染防止対策を総合的に推進し、環境基準等の達成・維持に努めます。



大気汚染測定局 (春日井市朝宮町)

【参考】愛知県の大気汚染常時監視情報について

県内の大気汚染測定局の最新の測定値(速報値)を公開しています。光化学スモッグ情報や微小粒子状物質(PM_{2.5})情報についても掲載していますので、ぜひご覧ください。

(<http://taiki-kankyo-aichi.jp/kanshi/realtime/index.html>)



愛知県 大気汚染調査結果

検索

水大気環境課 大気調査・補償グループ
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン)

○ クーリングシェルターについて

クーリングシェルターとは、熱中症特別警戒アラート（熱中症特別警戒情報）が発表されたときに一般に開放される、冷房設備が備えられた施設です。

市町村役場、図書館などの公共施設のほか、郵便局やショッピングセンターなど、県内では、1,829施設（2026年6月1日時点）が市町村によってクーリングシェルターに指定されています。

危険な暑さが見込まれる場合は、冷房設備の整った涼しい環境で過ごすことが大切です。必要に応じて、クーリングシェルターの利用をご検討ください。

県内におけるクーリングシェルターの設置やその開放の状況は、以下のWebサイトに掲載した市町村リンクから、確認することができます。

(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/cooling-shelter.html>)



愛知県 クーリングシェルター

検索

○ 熱中症対策啓発キャラクター「すずみーな」について

「すずみーな」は、愛知県の鳥「コノハズク」をモチーフにした妖精です。「暑い時にひと休み」することを呼び掛ける愛らしいキャラクターになっています。



すずみーな
©愛知県

企業 CM キャラクターのデザインなどを手掛けるイラストレーター・天明幸子さんにデザインしていただきました。

○ 「すずみーな」を使用したのぼり旗とポスターを掲出しています！

愛知県では、県民の皆さんにクーリングシェルターの場所を知っていただき、熱中症特別警戒アラートの発表時に利用していただくため、「すずみーな」を使用した、県内統一デザインののぼり旗とポスターを、クーリングシェルターに掲出しています。

今年の夏の気温は、平年に比べて高くなることが予想されています。ぜひ、「すずみーな」を目印に、お近くのクーリングシェルターを探してみてください。



のぼり旗（左）とポスター（右）のデザインの例

愛知県気候変動適応センター
環境調査センター 企画情報部
電話 052-910-5489（ダイヤルイン）

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第363号)

発行日 2026年8月3日

編集・発行 愛知県環境局 環境政策部 環境活動推進課
愛知県環境調査センター 企画情報部

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>
(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。